



荒川消防署よりお知らせ

◇災害・救急最新情報

(平成23年5月28日現在)

荒川消防署管内の火災件数23件・焼損床面積616㎡・火災による死者0人・火災による傷者・17人救助件数94件・救助人員95名危険排除件数28件・緊急確認件数20件・救急件数2764件になります。

東京消防庁管内の平成21年中の救急出動件数は65万5,631件で、1日平均1,796件に出動し、実に48秒に1回の割合で出動したことになります。

たばこが原因で火災になる事案が多く発生しています。灰皿には水を入れ、吸殻を捨てるようにしましょう。寝たばこも大変危険です、絶対に止めましょう。



◇東京消防庁救急相談センターのご案内
こんなときは「#7119」
にお電話を！



(例1) 休日に料理中、指を切ってしまった、なかなか血が止まらないため不安に思っ「#7119」に相談したら、応急手当の方法と受診可能な近くの病院を紹介してもらい安心できた。

(例2) 夜中、夫が「胸が苦しい」と訴えていたため、「#7119」に相談したら「救急車を手配します」と言われ、

すぐに病院に運んでもらい、緊急手術をし、無事退院することができた。

東京消防庁救急相談センターは、病气やケガなどでどうすべきか迷った時の相談窓口です。これらの質問に対し、医師や看護師、救急隊経験者等が24時間年中無休で対応しています。また、受診可能な病院の案内はお近くの消防署にもお問合せいただけます。

・具合が悪いけど救急車を呼ぶべきか迷っている
・ケガをしたけど病院に行った方がいいのかわからない
・夜間や休日に受診できる近くの病院を知りたい等

◇気をつけよう！室内での熱中症

これからの季節は気温が高くなり熱中症に対する注意が特に必要です。熱中症は、長時間にわた



り炎天下でスポーツ等をしていたことで発症する場合や、直接日光に当たっていても、風通しが悪く湿度の高い室内にいたことで発症する場合があります。

◎熱中症を防ぐために

- ・外出時は、帽子や日傘で直射日光を避けましょう。
- ・炎天下や非常に暑い場所で長時間の作業やスポーツは避けましょう。
- ・動いていなくてもこまめな水分補給を心がけましょう。

◇危険物安全週間

(6月5日(日)～6月11日(土))

危険物はガソリン・灯油等の燃料・危険物含有したスプレー缶・アロマオイル・消毒用アルコールなど、実はとても身近な場所にあります、私達の生活に欠かせないものとなっています。

しかし、その危険性を意識せずに使用したことによる火災が毎年発生しています。

また、セルフ式ガソリンスタンドで給油する場合、エンジンを必ず停止する、静電気を除去してから給油を開始するなど、正しい取扱いを心がけましょう。事業所だけでなく家庭内においても、危険物に該当する製品の注意事項をよく読むなど、危険物を十分認識して危険物の事故を未然に防ぎましょう。

危険物安全週間に伴う消防演習を行います。

日時 6月8日(水) 9時30分
場所 JR貨物隅田川駅構内(南千住4-1-1)

確かめよう 自分の周りの危険物

荒川消防署

TEL 3806-0119

